

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	H16 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・県ゼロカーボン戦略の達成に向け、農業分野においても、環境負荷を低減した環境にやさしい持続可能な農業へ転換していく必要がある。県内での取組面積はやや増加傾向にあるが、更に取組を拡大する必要があることから、生産現場において容易に実践可能かつ安定生産につながる環境にやさしい栽培技術の実証・普及等が必要。

・食のグローバル化が進む中、国際水準GAP※に対する実需者ニーズが一層高まっていることから、国際水準に引き上げた長野県GAP基準に基づく既存のGAPからのステップアップや認証取得に向けた支援が必要。

・気候変動等の影響による新たな病害虫や防除困難な病害虫が発生しており、生産現場への影響が深刻化していることから、対策が必要。

※GAP(Good Agricultural Practices : 農業生産工程管理)
「食品安全」「環境保全」「労働安全」から定められる点検項目に沿って、農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取組。国際水準の取組では、点検項目に「農場経営管理」「人権保護」の視点が加わる。

2 事業目的

温室効果ガス削減につながる技術や、化学肥料に代わる有機質肥料の生産・利用を普及・拡大するとともに、有機農業などの環境にやさしい農業の地域ぐるみでの展開を推進するなど、農業生産活動に由来する環境負荷の低減を進めることで、ゼロカーボンや持続可能な農業の実現を図る。

消費者や実需者から信頼され、求められる産地を目指し、安全安心な農産物生産の基になるGAPの取組や農薬の安全使用を図るとともに、農産物の生産に大きな被害を及ぼす新たな病害虫の侵入防止や防除困難な病害虫のまん延防止を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①ゼロカーボンに資する取組や有機農業など環境にやさしい農業の推進

・有機農業の面的拡大を図るため、市町村等が地域ぐるみで取り組む有機農業産地づくり（オーガニック・ビレッジの創出）や有機農業プラットフォーム会員の独自活動等を支援（執行見込額の確定により有機農業産地づくり推進事業補助金を減額）

・地域の農業者が実施可能な環境にやさしい栽培体系等を組み立てるため、技術実証と検証を行う現地実証展示地区を設置（執行見込額の確定によりグリーン栽培体系転換サポート事業補助金を減額）

・農業分野におけるゼロカーボン貢献技術開発・普及事業において、環境負荷低減活動基盤強化対策事業補助金の執行額が確定したことにより減額

・農業分野におけるゼロカーボン貢献技術開発・普及事業における現地実証事業費が確定したことにより減額

・環境保全型農業直接支払事業において、環境保全型農業直接支払交付金及び市町村推進交付金の執行見込額が確定したことにより減額

※その他の事業は当初予算のとおり

②GAPの推進

・農業者等の国際水準GAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）認証取得のためのコンサルタントの導入や認証審査を支援（執行見込額の確定により国際水準化GAP普及促進交付金事業補助金を減額）

※その他の事業は当初予算のとおり

③重要病害虫のまん延防止

・発生予察調査により侵入警戒を行うとともに、テンサイシストセンチュウの防除及びまん延防止を徹底（テンサイシストセンチュウの防除面積が減少したことによる防除委託費、防除協力金の減額）

・中国産花粉の買取数量の減少に伴う需用費の減額

※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	持続可能な農業に取り組む面積 （化学合成農薬・肥料を削減した栽培、有機農業）	ha	2,465	2,414	↗	2,531	↗	3,083		第4期長野県食と農業・農村振興計画において、5年後に取組面積をR3年度の1.5倍（3,700ha）を目指すことが長期目標であるため、R6年度はR3年度（基準年）の約1.2倍の3,083haを目標とする	
②	国際水準GAPの取組に関する研修会の参加者数	人	223	570	↗	616	↗	700		国際水準GAPの周知と各農場での実践者増加、既存GAPからのステップアップにつなげるため、10地域で年2回研修会を開催、1回当たりの参加者数35名を目標として設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										
2-1①	成長産業の創出・振興										
2-2①	循環経済への転換の挑戦										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R6年度	0	616,898	△ 308,636	△ 308,636		308,262	24,626		18.5
R5年度	227,000	338,896	△ 22,144			543,752	23,748	476,782	18.5
R4年度	8,400	141,326	204,346			354,072	24,106	116,703	18.5

事業番号	09 03 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事業名	環境にやさしい農業推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
1	環境にやさしい持続可能な農業定着・促進事業		34,059 千円	58,067 千円	予算現額 36,897 うち今回 補正額 △138,009 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	有機農業推進事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業に係る新たな認証制度の事例調査結果に基づく制度設計及び運用開始に向けた調整、制度の周知活動 ・市町村等が主体となった地域ぐるみでの有機農業産地づくりの推進 ・執行見込額の確定による有機農業産地づくり推進事業補助金の減額（56,000千円→24,731千円） オーガニックビレッジの創出 延べ4市町村			
2	環境農業推進事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の新規取得やステップアップを目指す農業者・団体等の取組を支援 ・環境にやさしい農業技術実証展示地区の設置、現地検討会の開催 ・執行見込額の確定によるグリーン栽培体系転換サポート事業補助金の減額（3,000千円→0千円） 環境にやさしい農業推進研修会の開催 1回、実証ほの設置 5か所			
3	農業分野におけるゼロカーボン貢献技術開発・普及事業 （農業分野における脱炭素推進事業）	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス削減技術・炭素貯留の普及推進に向けた現地実証ほの設置、Jクレジット制度の検討 ※事業費が確定したため減額（3,000千円→807千円） ・下水汚泥資源の肥料利用に向けた検討、汚泥肥料の肥料効果の検証 ・情報交換会への参加及びJA等と連携したバイオ炭の施用方法の検討 ・執行額の確定による環境負荷低減活動基盤強化対策事業補助金の減額（100,000千円→0千円） 現地実証ほの設置 2か所			
4	GAPの推進	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・国際水準GAPの認知度向上とステップアップに向けた研修会の開催 ・国際水準GAP認証取得支援 ※執行見込額の確定による国際水準化GAP普及促進交付金事業補助金の減額（2,900千円→1,353千円） ・国際水準GAPに対応可能な職員を育成するための研修の受講 認証取得支援5件、職員の育成10人			

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
2	環境保全型農業直接支払事業		35,337 千円	39,596 千円	予算現額 41,340 うち今回 補正額 △4,794 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%削減したうえで、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組を行う農業者を支援 ※執行見込額が確定したため減額（45,636千円→40,842千円） 交付額 40,630千円			

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	植物防疫事業	55,965 千円	217,424 千円	予算現額 228,412 うち今回 補正額 △ 165,833 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除所等による病害虫発生予察ほ場の設置及び調査の実施 ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入 予察巡回調査ほ場設置ヶ所数 280ヶ所、予察方法の発表回数 10回	
2	病害虫防除所運営費	直接	病害虫防除所の設置及び運営 病害虫防除所（本所及び中南信担当）の設置及び業務の推進	
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	国が指定する重要病害虫（テンサイストセンチュウ）の防除及びまん延防止対策の実施 ※テンサイストセンチュウの防除面積が減少したことによる防除委託費及び防除協力金の減額（330,010千円→199,645千円） ・中国産花粉の買取数量減少に伴う需用費の減額（42,300千円→6,832千円） テンサイストセンチュウ緊急防除実施ほ場 のべ165か所	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
4	農薬安全使用対策事業	1,711 千円	1,665 千円	予算現額 1,613 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の推進 ・地域特産作物等、マイナー品目の農薬登録拡大のための試験等の実施 ・環境モニタリング調査の実施 地域特産作物の農薬登録適用拡大試験実施件数 4件	